

日立グループの原点

日立オリジンパーク
Hitachi Origin Park



当時の迫力ある製品が並ぶ小平記念館（展示ホール）内

日立グループの原点へ

日立市の発展の大きな原動力となった日立製作所。

「日立オリジンパーク」は、1910（明治43）年に本市で創業して以来、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念に基づき世界中の社会課題解決に貢献してきた日立グループの挑戦の歴史と創業の精神を未来に伝えるため、令和3年11月にオープ

ンしました。

福利厚生施設であった「大みかクラブ・大みかゴルフクラブ」の敷地内に「小平記念館」と「創業小屋」が新たに建設され日立オリジンパークを構成しています。

小平記念館は、小平浪平が日立製作所を創業するまでの歩みを紹介する映像や当時の製品、タッチスクリーン・ARを活用し

たジオラマなどにより、日立の技術開発、挑戦の歴史を、日本及び世界の産業史とともに体感できます。

日立の原点である日立鉾山工作課修理工場を再復元した創業小屋では、創業製品の5馬力モーターが実際に動く様子や当時に再現した工具等の展示を通じて、創業時の苦労や息吹を体験できます。



ガラス張りのエントランスからは、5馬力モーターが生み出された創業小屋が見えます。



展示ホールに入ると、小平の学生時代の日記が展示されています。



創業小屋では、作業の様子を再現した映像や、5馬力モーターを製作するための道具等が展示されています。

小平自慢のゴルフ場

「大みかゴルフクラブ・大みかクラブ」は、1936（昭和11）年に、社員の福利厚生と外国賓客の接待を目的に、「日立ゴルフ倶楽部」として開場したのが始まりです。

開場当時、東京ドーム約14個分の広さを誇る18ホール・パー74の本格的なコースは、数々の名コースを手掛けた井上誠一的设计によるもので、茨城県では初めて、全国でも14番目、企業が所有するゴルフ場としては日本初という、画期的なものでした。高床式寝殿造りの典雅なクラブハウスは、東大安田講堂の設計で有名な東京帝国大学建築学科教授・岸田日出刀きしだ ひでとの設計によるものです。

終戦後、農地化されたコースはシオン学園（現・茨城キリスト教学園）や政府への売却により、クラブハウス前の狭きょうあい隘な芝生スペースを残すのみでした。

1950（昭和25）年、残った芝生で3ホールのショートホールから再開し、以降、徐々に拡張し、現在は、6ホールのコースで、一般の方にも親しまれています。

大みかクラブは、オリジンパークの開業に併せ、伝統的な建築様式を残しつつ、ユニバーサルデザインや省エネルギーに配慮した「おもてなしの場」としてリニューアルされ、地域をはじめ様々な人たちの新たな対話の場となっています。



クラブハウスから望むゴルフ場
グリーンは、開場以来、希少価値の高い高麗芝こうらいしばで整備されています。



おもてなしの場であるクラブハウス
小平が愛用したゴルフ用品の数々や敷地内で作陶されていた大甕焼なども展示されています。



1974（昭和49）年開催の茨城国体の際には、大みかクラブに昭和天皇・皇后がご宿泊され、前庭では「日立風流物」が披露されました。

—基本情報—

- 【住所】 日立市大みか町 6-19-22
- 【電話】 0294-87-7575
- 【開館時間】 9:30-16:00（最終入館 15:00）
- 【休館日】 水曜日・祝日
- 【入場料】 無料
- 【駐車場】 あり
- 【アクセス】 JR常磐線大甕駅西口から徒歩10分
- 【HP】 <https://origin.hitachi.co.jp/>

“北関東の雄”日立製作所硬式野球部

1915（大正6）年に創部、日立市に本拠地を構える名門野球部です。都市対抗野球大会出場の常連チームであり、2016（平成28）年大会には準優勝しています。スタンドを埋め尽くすオレンジ色のウェアの大応援団の声援は、大会の名物となっています。



“日立発祥の球技”パンポン

日立製作所が創業して間もない1921（大正10）年頃に、社員のレクリエーションとして始められた球技です。木の板のラケットと木製のネット、軟式テニス用のゴムボールを用いる、テニスと卓球を掛け合わせた競技です。